

日本脳炎

☆日本脳炎は、ウイルスを持つ蚊にさされることで感染する病気です。多くの場合、症状はませんが、まれに脳炎になることがあります。脳炎になると、けいれんが出るなど重症化し、2～4割の人が亡くなってしまおうといわれています。

☆日本脳炎ワクチンを接種することで、体のなかに日本脳炎への免疫（抵抗力）ができます。

☆このワクチンは、標準的には3歳から始め、5歳までに3回の接種をします。また9歳になってからも1回接種をします。

☆日本脳炎ワクチンは不活化ワクチンです。

■予防接種の受け方

いつ受けるの？

接種年齢

1期：生後6か月以上7歳6か月未満
(標準的な接種年齢：1期初回は3歳以上4歳未満
1期追加は4歳以上5歳未満)

接種年齢

2期：9歳以上13歳未満
(標準的な接種年齢：9歳以上10歳未満)

どこで？

福島市登録医療機関に予約してください

持っていくものは？

母子健康手帳、日本脳炎予防接種予診票、
子ども医療費受給資格者証など

回数と間隔は？

1期初回1回目 (標準的な接種年齢：3歳)

↓ 1回目から6日以上あける
(標準的な接種間隔：6～28日)

1期初回2回目 (標準的な接種年齢：3歳)

↓ 2回目から6か月以上あける
(標準的な接種間隔：2回目からおおむね1年)

1期追加 (標準的な接種年齢：4歳)

↓
2期 (9歳以上13歳未満)
小学4年生で通知します

■おこるかもしれない体の変化（副反応）

- 日本脳炎ワクチンを接種した後、熱がでたり、せきや鼻水がでたりします。
- 接種個所が赤くなることがあります。
- 極めてまれに、アナフィラキシー（急激なアレルギー反応）、急性散在性脳脊髄炎（アレルギーにより脳や脊髄に炎症がおこる）、けいれん、血小板減少性紫斑病（かさぶたをつくる働きの血小板が少なくなって、出血しやすくなる）、脳炎などの重い症状があらわれることがあります。



○予防接種を受けた後、気になる症状や体調の変化があらわれたら、すぐに接種した医師に相談してください。